

2022-23 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第1512回(19)

会長 笹田 博之 幹事 内山 春夫

クラブ会長テーマ



「想像力を高めて変化に対応、社会に貢献」

日時	2022年 12月13日(火) 12:30 ~
場所	福山ニューキャッスルホテル
例会行事	点鐘・ソング「我等の生業」 ゲスト・ビジターの紹介（出席報告参照） 会長報告 幹事報告 出席報告 S A A 報告 スマイル報告 プログラム情報 その他報告
その他情報	メイクアップ情報（来週分） メイクアップ情報（再来週分） 今後の行事予定 クラブ活動報告



IMAGINE
ROTARY

【 会 長 報 告 】

12 月に入り気温が下がってくるなかで、食卓でも鍋を楽しむシーズンとなりました。そんな鍋の中でもひととき豪華なのはカニを食材にした海鮮鍋でないかと思います。そんな鍋食材として人気のカニですが、先日アメリカ CNN において非常にショッキングな内容のニュースが発表されました。その内容は米国アラスカ州管轄のベーリング海で行われていたズワイガニ漁が今年初めて米国漁業省より操業中止の決定がなされたとのことです。漁業者にとってはそれこそ死活問題とはいえ、その理由は海洋調査によりベーリング海域のズワイガニはここ数年で数十億匹が姿を消したそうです。アラスカ州漁業狩猟局によればズワイガニの個体数は 2018 年の推定 80 億匹から 2021 年には約 10 億匹へと激減したとのことです。ベーリング海で捕獲、水揚げされるカニの中でもズワイガニは突出して多く、メスガニや子供の幼生カニも含めて何十億匹もいなくなったのは大変ショックで危機感を持っているとのコメントが狩猟局より出ています。発表によれば今年もカナダ・ブリストル湾のタラバガニ漁も 2 年連続で禁漁となったそうです。専門家によれば禁漁の理由として自然増加数を超える量のカニがベーリング海で水揚げされている可能性を指摘しています。2021-22 年にかけての調査によれば成体のオスのズワイガニは約 40%減少し残された量はベーリング海全体で約 2 万トンとのことです。ちなみに幼生から成体に育つまでの期間は脱皮を繰り返し約 6、7 年もの歳月がかかるそうです。アメリカ海洋・大気局の専門家はズワイガニの個体数激減には気候変動が重大な影響を及ぼしていると指摘しています。ズワイガニは海水温 2 度以下の冷たい深海の海域に生息しているのですが、近年アラスカ周辺では地球温暖化の影響から海水温度が上昇してズワイガニが生息しにくい環境になっているとのことです。

現在日本国内で流通、販売、消費されているズワイガニ、タラバガニはほとんどがベーリング海域、カナダ海域において捕獲され、冷凍処理されてアメリカ、カナダ、ロシアより輸入されたものです。

今後このまま地球環境の変動、温暖化などによりこのような状態が続くようなら近い将来においてはズワイガニ、タラバガニは幻の食材として目にすることもなくなり我々は食することが出来なくなると思います。そうなったときにはカニ鍋の代替え具材として鍋に(カニかまぼこ)が浮かんでいるという状況となり、正直これは目にはしたくない思いです。

いずれにしても地球環境の変化の影響は地上だけでなく海の深海にも大きな影響を及ぼしているということを報告させていただきました。

【プログラム情報】

《RYLA報告・・・青少年奉仕委員長 能登 伸一》

日時：2022年12月3日（土）～12月4日（日）1泊2日

12月3日 9時30分受付 10時00分開始

12月4日 15時00分散散

RYLA 開講式

“防府で考えよう国の未来とリーダーシップ”



★受講生=40名
ロータリアン=54名

・12/3～12/4 の日程
・防府駅前のビルに集合

基地施設説明と宿泊準備



・カリキュラム説明
・敷地内を見学しつつ宿舎へ
・ペットメイクも自分たちで



基地司令講演

航空自衛隊と航空教育隊の概要 右田竜治1等空佐



自衛隊体操

- ・中国、ロシアの強烈な軍備増強
- ・アメリカ、韓国との連携強化必要
- ・自衛隊もしっかりやる

「リーダーの資質」 野関 由味子 氏



- ・リーダーの資質＝メンバーの意見を聞いて決める
嫌われる覚悟
ぶれない
- ・若者の様子＝嫌々の参加もとても真剣に学んでいた

学生食堂



食事



朝食(卵焼きは一人一個)



- ・ 700人くらいは収容できる食堂
- ・ 全て集団行動
- ・ 2日間、全くアルコールなし

「リーダーの資質」 野関 由味子 氏

グループセッション



気づきについて

今後実践する！



- ・ “良い上司”の条件
 - 怒らない
 - 否定しない
 - 助ける
 - 指示する

防府マラソン ボランティア

準備開始



準備完了



過ぎ去った後



先頭集団



嵐の始まり



- ・貴重な体験だった
- ・コップを上手に取らないランナー

「一流の三条件」

大谷泰彦 氏

★勉強好き

★プラス思考

★素直さ



- ・再度自衛隊に戻って最後の研修

閉会式

修了証授与

西村実行委員長



- ・若者同士、当初は辛そうだったけど仲間ができて嬉しそう
- ・笑顔が印象的
- ・何をやるにもとっかかりはメンドクサくてもやってしまえば「やって良かった、参加してよかった」

ご清聴ありがとうございました。



私の気づき

- ・初めてのマラソンボランティア
- ・嫌々だったのがすぐに楽しく学ぶ若者たち
- ・自衛隊の規則正しい生活（一瞬だけ）を体験で清々しい気持ち
- ・自衛隊員の頑張りもこの目で確認できた

【その他報告】

≪“ロータリーの友”誌紹介≫

ロータリー友記事の紹介（12月号）

ロータリー情報委員会 石岡 紀彦

・表紙 「みんなのクリスマス」

今年度は多才な障害者アートが掲載されていますが、12月号は段ボール細工の廃材です。

・今月は「疾病予防と治療月間」

・横目次 P7～15P 疾病予防と治療月間特集

「ロータリアンのつくるめし」 私の健康めし、私の元気めし、私のゲン担ぎめしなど
ロータリアンが食しているいろいろの食事について投稿。

・横目次 P21 ノーベル物理学賞を受賞

オーストラリアのロータリアンであるアントン・ツァインガーさんら、3人が量子力学分野
での功績から2022年ノーベル物理学賞を受賞。

ノーベル賞を受賞したロータリアンは過去14名。

・横目次 P26～27P よねやまだより

米山学友であるタイ・ヴァンダムさんより、ベトナム・ホーチミンの観光名所、ベトナム
料理などについて紹介されています。そして、本人は大阪大学で博士号を取得。
現在はホーチミン工科大学の准教授として応用科学研究所の副所長を務めている。

・縦目次 P4～P8 コロナ禍とワンヘルス（IM 講演）

日本医師会名誉会長 横倉義武さん

三つの健康である人間、動物、環境（生態系）は「ワンヘルス」につながったものである
と古くから伝えられてきたが、動物由来感染症が急増する現状への対応として、三つの健
康をワンワールドで一つとする考え方が国際的にも改めて注目されているとして、コロナ
ウイルスについて専門的な観点から解説されておられます。そして、最後に切迫した問題
が山積みになっているこの世界において、ロータリアンは傍観者ではなく、自ら行動する
責任があるとされています。

・縦目次 P9～P12 この人を訪ねて 尾崎康（浦和中 RC）

尾崎康さんの弟さんは26才の若さで急死した歌手の尾崎豊さんです。康さんは弟の豊さ
んとの思い出話や弁護士から裁判官、そして弁護士に復帰した経緯、及びロータリアンと
しての活動について語られています。

• 縦目次 P20 友愛の広場

「ロータリーを一言で説明すると」 丸亀 RC 横田龍男様

ガイ・ガンディカー（1923～24年RI会長）は、ロータリーの通解の中で、「ロータリーは上辺だけの人間を作るのではなく、人間の体質改善を行うものである。

ロータリーの内部で体験を積むにつれて人はロータリアンとなる」と言っておられることから、横田さんは「ロータリーは人を作る学校のようなところ」とロータリーを説明しているそうです。

• 縦目次 P21 今こそ「四つのテスト」山口南 RC 加藤慶昭様

最初に出会ったのが「四つのテスト」。経営者としての覚悟を迫るかのような強烈な言葉がありました。ロータリーの理念。自らの職業を通じて社会に貢献すること、つまり職業奉仕である。職業に貴賤はない、社会において有用な職業であれば存在意義はある。

《 各種表彰等 》

【皆出席】



【連続皆出席 18年 北村 富喜子 さん】

《第 1512 回例会 BGM♪》

・北 治郎さん選曲

『♪小椋佳 「彷徨」♪』